

おびつだより

第241号 『おびつだより』を
ホームページから
編集・発行 読むことができます
小櫃公民館
〒292-0451
君津市末吉128
☎0439-35-2488



小櫃の人口

男 2,172人 (-5)
女 2,134人 (-19)
計 4,306人 (-24)
世帯数 2,025戸 (-4)
令和8年7月末現在 (4月末比較)

公民館で、楽しい夏休み!

子どもたちお待ちかねの夏休み。
小櫃公民館では、さまざまな事業が開催され、
子どもたちの元気な姿が見られました。

毎年開催している子どもひろば「夏休み」では、
8月7日(金)にNintendo Switchを使ったゲーム
大会、8月22日(土)におびつ縁日を開催しました。
どちらも上総小櫃中学校のボランティアが運営をサ
ポート。子どもたちは公民館で楽しい時間を過ごし
ました。

また、7月18日(土)から19日(日)には、小櫃地区
青少年相談員・小櫃公民館共催事業「子どもキャン
プ」が開催されました。参加した小櫃小の4・5・6年
生15人は、海水浴やカレーづくり、キャンプファイ
ヤーなど、自然の中でさまざまな活動を楽しみました。

子どもキャンプに参加した、子どもたちの感想の一部
をご紹介します!

- ・人生初! 海でおよぐのがたのしかった!
- ・はじめは雨がふっていたけれど、雨がやんで海に
入ってよかったです。
- ・キャンプファイヤーは、
みんなで火の
まわりでおどれて
楽しかったです。
今年で最後の
キャンプは最高に
楽しかったです。



小櫃っ子通信

子どもたちの「いま」をお届けします!

小櫃地区の子どもたちが、保育園や学校でい
きいきと過ごす様子をご紹介します。日々の学び
や行事、地域との交流など、子どもたちの元気な
姿を定期的にお届けします。

～上総小櫃中学校～ 支部総体から県大会へ!



ソフトテニス部の皆さん

7月に支部総体が開催され、日頃の練習の成果を発揮
しました。男子ソフトテニス部は見事、団体戦で優勝し、県
大会でもベスト8の成績を収めました。個人戦では、ソフト
テニス部、卓球部、陸上部の選手も県大会に出場し、一
人ひとりが最後まであきらめず、試合に臨みました。

新人戦真ただ中の9月も、子どもたちは日々練習に
励んでいます。

～小櫃保育園～

小さな手へ、優しさつなぐ花植え

6月に青葉高校生から
花植えを教わった5歳児。

高校生の丁寧なリード
で笑顔が広がり、心温まる
地域交流となりました。



～小櫃小学校～ ホタルの学習



ホタルについて調べたことを
発表している様子

3年生は公民館職員を講師に迎え、ホタル学習に取り
組みました。まず、ホタルの生態等を学び、さらに調べた
課題を見つけました。そこからグループで調べ深め、
模造紙にまとめ、発表しました。どのグループも協力し、
よい発表ができました。

地域の方にも聞いていただき、地域の行事(長谷川ホ
タル谷フェスタ)への参加にもつながりました。



長谷川子ども祭り・七夕長谷川ホタル谷フェスタ 【7月4日(土)】

自治会主催の「子ども祭り」は、ホタル谷フェスタの開催までの間も子どもたちに楽しんでもらいたいという思いから企画されました。子どもたちは、輪投げやポッチャなどのゲームを楽しみました。

ホタル谷フェスタには200人以上が集まり、竹灯籠やヘイケボタルの鑑賞を楽しみました。実行委員をはじめ、多くの地元の皆さんの協力により、今年度もにぎわいのあるイベントとなりました。

熊野神社夏祭り 【7月5日(土)】 箕輪

祝詞奏上などの儀式が行われた後は、神輿をかついで神社境内を一周しました(神輿渡御)。その後は、神輿をトラックの荷台に乗せて箕輪地域を巡りました。



西原虫送り 【7月18日(土)】

稲穂の害虫を松明の火で誘い、村境で駆除したことが由来とされる伝統行事です。

参加者は松明を手に、「稲の虫を送るぞ」と声を上げながら、地域の中を練り歩きました。



第44回戸崎夕涼み会 【7月18日(土)】

戸崎地区の内外から多くの子どもたちが訪れました。

「地域の皆さんが集う場を提供できることがうれしいです」と、実行委員長の小高徹さんが話してくれました。



賀恵渚夕涼み会 【7月25日(土)】

お菓子釣りや紙風船割りなど、子どもたちが楽しめるさまざまな遊びが用意されました。

「みんなでかき氷を食べたのが楽しかった」と、子どもたちは笑顔で思い出を話してくれました。



三田サマーフェス【7月25日(土)】

市外から遊びに来た子どもたちも多く、会場はたくさんの人でにぎわいました。毎年恒例のラムネ飲み競争やピンゴ大会など、大人と子どもが一緒になって、お祭りを楽しんでいる様子が見られました。

子どもたちによる、りんごジュース飲み競争が行われ、来場者の注目を集めました。



上新田納涼祭【7月26日(日)】

公会堂には子どもたちが楽しめる遊びが用意されました。「子どもたちのために、開催できて良かったです」、「ご近所さんとも交流できて、自分も楽しかったです」と、参加した皆さんが笑顔で話してくれました。

地域の方と一緒にパフ作りを楽しむ子ども。お菓子釣りや千本びきなども楽しみました。

おびつびと

—地域あつての醤油屋—
小櫃で150年
受け継いできた味と新たな挑戦



田中 透 さん
(西原)



もろみを発酵させている様子

「おびつびと」では小櫃地区在住の、特技や好きなことに取り組んでキラキラと輝いている方を紹介しています。

今回は、150年前から小櫃で醤油をつくり続けている田中醤油株式会社の田中 透さんにお話を伺いました。

—田中醤油について教えてください。

明治6年から小櫃で醤油をつくり続けていて、私は6代目になります。5代目が会社を立ち上げ、業務用に力を入れてきました。今でも学校給食や病院などに提供させていただいています。

私の代から、卵かけ用のぶっかけ醤油や蜂蜜入りの醤油などをつくるようになりました。時代の変化に合わせ、身近な商品をつくることで、田中醤油を知ってもらいたいという思いがあります。

醤油の作り方は昔から変わらず、麴を使って自然発酵させています。仕込みには昔ながらの木の樽を使い、毎年大切に使い続けています。



①もろみから、醤油を絞り出している様子
②醤油を保管している木桶



インタビュー全文
はこちら！

—ぶっかけ醤油のこだわりは？

一番のこだわりは香りです。口当たりの良さと甘さにもこだわっています。かつお節、昆布、椎茸なども入れて、とにかく香りを意識してつくりました。もちろん、元の醤油づくりも大切にしています。

—小櫃に対する想いを教えてください。

小櫃はいいところで、醤油づくりにも適していますが、やっぱり地元の人がいいですね。

自治会の皆さんや先輩・後輩たちにもよくしてもらいました。ふるさと祭りにも参加し、今でも景品にうちの醤油を使ってもらっています。地域の人たちが大切にしてくれる。地域あつての醤油屋だと思っています。

—これからやってみたいこと

うちの醤油を使った、手軽に食べられる食品をつくってみたいです。せんべいやチャーシューのようなものです。

大きな企業とは違うので、形になるまでには時間がかかります。でも、そういうことも含めてコツコツやっていくことが大切だと思います。地道に続けながら、少しずつ形にしていきたい。そうやって、日々頑張っていきたいと思っています。



小櫃地区地域づくり協議会

小櫃てらす



ホームページは
こちら！

5人の共同代表をご紹介します！

令和8年6月11日(木)に「小櫃てらす」の設立総会が行われ、7月3日(金)には地域づくり協議会として市の認定を受けました。

小櫃てらすでは、5人の共同代表を中心に、地域の皆さんとともにさまざまな活動を進めていきます。

今回は、共同代表の皆さんをご紹介します。あわせて、それぞれに「小櫃の好きなところ」を聞いてみました。これからの活動に、ぜひご注目ください。

○安藤 吉克 さん
都心にもひとつのアクセス。空気も水も美味しいオアシスが心地良い。

○小泉 淑江 さん
水が育む米と野菜！ 都心から1時間で、豊かな田園風景が広がるところ。
吉田さん 小泉さん 篠田さん 藤田さん 安藤さん

○篠田 徹 さん
受け継がれてきた祭りや伝統行事。人のつながりを感じるところも好き！

○藤田 一哉 さん
人材も地域の環境も魅力にあふれ、可能性を感じられるところが好きです。

○吉田 さやか さん
豊かな自然と地域のみんなで子どもを育てる温かい小櫃が大好きです。

※地域づくり協議会の詳細は、君津市ホームページをご覧ください。



イベント予告 「たまごフェスタ」

日時：9月20日(日曜日)
15時～17時まで

場所：小櫃スポーツ広場

小櫃地区ふるさと祭り会場内でたまご料理の提供やイベントを行います！
詳細は、ホームページをご確認ください。

「避難所生活とトイレ問題」から 学ぶ災害への備え

—小櫃地区防災講座より

小櫃公民館では、小櫃地区自治会連絡協議会との共催により、6月21日に小櫃地区防災講座を開催しました。南海トラフ巨大地震や首都直下地震などの大規模災害に備え、長期化する避難生活を見据えた防災・減災について学びました。

第1部では、NPO法人首都圏防災士連絡会の今井富雄氏が「避難所生活とトイレ問題」をテーマに講演しました。能登半島地震などの事例を紹介しながら、災害時には食料や飲料水だけでなく、トイレ対策が命と健康を守る上で欠かせないことを説明。携帯トイレを最低3日以上備蓄することや、高齢者や障がい者、乳幼児連れなど、誰もが安心して過ごせる避難所環境づくりの重要性について学びました。また、「避難所は行政だけで運営するものではなく、避難者自身が主体となって支え合うことが大切」と呼びかけました。



第2部では、君津市危機管理課職員から避難所開設基準や家庭での備蓄について説明があり、公民館敷地内の防災倉庫を見学しました。

参加者は簡易トイレやパーテーションを運び出し、実際に設営手順を確認し、災害発生時の避難所開設を具体的にイメージする貴重な機会となりました。

講座終了後には、株式会社大成防災、株式会社エノモト防災工業の協力による防災グッズ展示も

行われ、参加者は携帯トイレや最新の防災グッズを手に取りながら、家庭での備えについて理解を深めていました。



参加者は協力をしながら、パーテーションの設営を行いました。

【参加者の声】（一部抜粋）

- ・実際にテントを組み立てできて、防災のイメージがわきました！
- ・災害で避難が必要となった時、もちろん飲料水、食料、休める場所等、色々重要です。日頃思っていたのは、避難先のトイレでした。多数人数が集まった時、どうなるのだろう、避難したのだからしょうがないと考えるのか？でもこれは人間の尊厳の問題だと思っています。災害等で、自宅のトイレが通常使用不可能となった場合の対処方を学ぶことができ有意義でした。
- ・災害があった数年後に薄れていく防災意識をもつため、こういった講習は必要かと思います。
- ・参加意義をもって多くの方が聞く機会があると良いと思います。

7月28日、熊本県熊本地方を震源とする地震が発生し、大規模かつ大きな被害が起きました。災害はいつ起こるかわかりません。ご家庭での備蓄や地域での防災活動について話し合ってみてはいかがでしょうか。

10月から、公民館の 閉館時間と休館日が変わります

①週1日休館日を置きます。

月曜休館：小櫃、八重原、周西、周南、清和公民館
火曜休館：中央、小糸、上総公民館
※祝日・年末年始は引き続き休館です

②公民館の閉館時間が22時から 21時に変わります。

③1週間前までに夜間の予約が無かった 日は17時閉館となります。

※日曜日はこれまで通り17時閉館です。

○市民センター受付時間が変更

9月1日から窓口受付時間は
午前9時から午後4時30分となりました。

おびつ・ミニ掲示板

○小櫃地区の第一避難所が変更

令和8年6月1日から、避難所の開設順位が変わりました。
新しいものは以下のとおりです。

- 【第一避難所】 上総小櫃中学校
- 【第二避難所】 小櫃公民館
- 【第三避難所】 小櫃小学校
君津青葉高等学校

※災害発生時には防災無線・君津市メールなどで最新情報を確認しましょう

編集後記

災害を考える時、私たち千葉県民にとって2019年の台風15号の被害は記憶に新しいものです。今年は酷暑日という新しい気象用語ができ、熊本ではまさにその酷暑の中で地震災害に見舞われた夏でした。

ボーイスカウトのモットー「備えよ常に」を矜持に、日々過ごせたらと思う私であります。（森）